

令和7年度ホタテガイ採苗情報（第6報）

令和7年5月16日

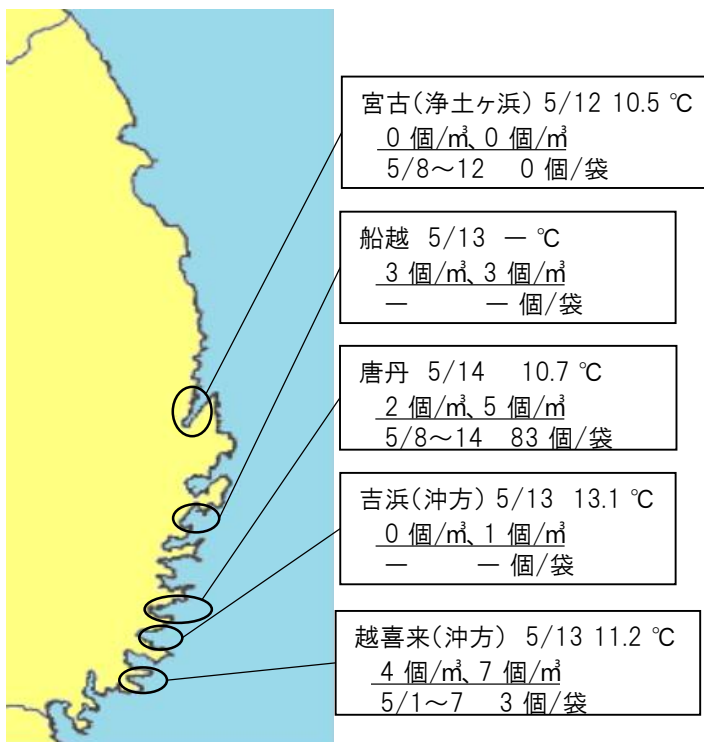
発行：岩手県水産技術センター
協力機関：広域振興局水産部・水産振興センター
関係漁業協同組合



唐丹湾では、前回調査(5/8)よりも稚貝の付着数が増加しました。

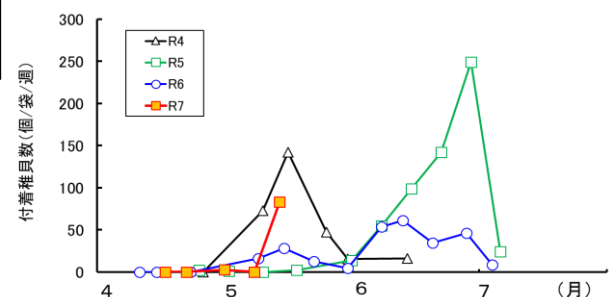
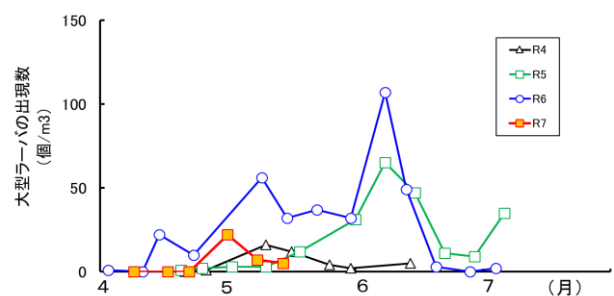
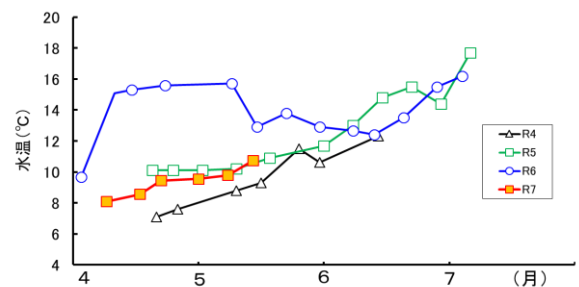
< 調査結果の概要 >

- 5/14の唐丹湾の10m深水温は10.7℃、透明度は10mでした。
- 唐丹湾では、ホタテガイの殻長200μm未満の小型ラーバが2個/m³（昨年同時期：51個/m³）、200μm以上の大型のラーバが5個/m³（昨年同時期：32個/m³）出現しました。
- ムラサキイガイのラーバは22個/m³、キヌマトイガイのラーバは1個/m³、エゾイシカゲガイのラーバが6個/m³でした。昨年同時期と比較すると、ムラサキイガイが同程度、キヌマトイガイとエゾイシカゲが少なめでした。
- 唐丹湾では付着稚貝の数が増加し、83個/袋の稚貝が出現しました。また、4割程度は付着直前の稚貝でした。
- まとまった数の付着稚貝が見られた場合は、採苗器の分散投入を始めてください。



調査点 調査日 水深10m層水温
ラーバ出現数(殻長200μm未満、200μm以上)
試験採苗器垂下期間 付着稚貝数

図1 各定点の調査結果
(国土地理院地図 国土地理院HPより)



次報は、5月23日頃に
発行する予定です。